

シグマ委員炉定数専門部会議事録

- 日 時 昭和44年8月28日 13時～17時
- 場 所 砂防会館2階会議室
- 出席者 西村(和), 桂木, 五十嵐, 水田, 飯島, 菅原, 松延, 土橋,
柴, 中村, 石黒, 西村(秀), 永山, 森田, 安川, 大竹, 杉
- 配布資料
1. CORMORANT メモ
 2. 重い元素の無限稀釈炉定数表
 3. EXPANDA-4 (JAERI-3660)
 4. Thermal X-section 計画
- 回覧資料 Pu- α のデータ
- 議 事
1. 経過報告
核データ評価, 情報専門部会への改組の趣旨, 各部会の守備範囲, 炉定数専門部会の今年度テーマの異動について部会長より報告
 2. Pu- α
Winfrithで6月末に行われた。Pu- α に関する会議の結論について, 議事録にもとづいて報告, Schomberg 等の high α は 10KeV 以下において撤回され, α は GWin の測定に近い値におちついた。10KeV 以上では Hopkins De Sausser に近い値がよいようである。
 3. 43年度の成果について
 - a Pu 炉定数の評価のレポートが出版された。
 - b CORMORANT の機能が資料により説明された。
今後の有効な使い方について解析用データの作成, 研究計

画への feed back が考えられるとのコメントがあった。

- c 重い核の炉定数の作成経過，使用法，今後の作業予定が資料 2.3 をもとに説明された。

無限希釈断面積は実験値は実験値とよく合うように考慮されている。共鳴積分も測定とよく一致するように造られている。断面積やパラメータ等の中間結果は保存されており使用可能である。

4. 44年度計画の修正

次の計画を実施することになった。

- a 炉定数の評価（今年度内）
- b Thermal 用 FP 炉定数の作成*（12月まで）
- c Fast 用 FP 炉定数（Nuclear data はのぞく，12月以降）
- d Thermal 用 X-section の作成と評価（今年度内）
- e Thermal 用 Fast 炉定数の改訂（長期）
- f 高速炉用炉定数の作成
- * 資料 4 参照

5. W.G.の編成

上記の計画遂行のため W.G.を編成することとし，希望により次のように所属がきまった。

- a 飯島，菅原，中村，大竹，西村（秀）
- b 松延，大竹，永山
- c 飯島，松延，大竹，西村（秀）
- d 飯島，（菅原），柴，土橋，安川
- e （永山），杉，水田

f 菅原，松延

責任者は各グループできめる。欠席者については後で確認すること。